



## 「我が身をつねって人の痛さを知れ」

～いじめのない学校づくりを目指して～

校長 永山 誉

新緑が美しい季節となりました。学校を取り囲む木々が、眩しいくらいに鮮やかに新緑を彩っています。

さて、新年度がスタートして約1か月。それぞれの学年の子どもたちは、新しいクラスにも慣れ、自分らしさを発揮しながら過ごしています。年度当初の4月というのは、子どもたちにとって新しいクラスや友達との出会いが中心となり、比較的緊張した中で1か月が過ぎていきます。しかし、5月の連休明けから6月にかけては、子どもたちの関係もこれまでと違った形で変化し、些細なことから関係が崩れることがあります。この時期は、こういったことから特に子どもたちが内面にストレスを抱え込みやすく、学校生活に適応できないという問題が発生しやすい時期であり、特に5月から6月にかけては、いじめの認知件数が増加してくる時期ともいわれています。ちょっとした一言が相手を傷つけ、その繰り返しがいじめに発展することもあります。

### 「我が身をつねって人の痛さを知れ」

ということわざがあります。これは、人の痛みや苦しみを、自分自身の痛みに置き換え、相手を思いやることが大切であるという教えだといわれています。ちょっとした一言を自分が言われたらどう感じるのか。自分がしてほしいくないことは、他の人にもしてはいけないことを、子どもたち一人ひとりに自覚させたいものです。

ところで、私たち学校の役割は、笑顔で迎えた子どもたちを毎日笑顔で御家庭に帰すことです。子どもたちが心に傷を負い、曇った表情で下校させるのは心苦しいものです。そうならないためにも、常に教職員が子どもたちの様子に気を配り、御家庭と連携しながら、少しの変化も見逃さないようにしていきたいと思えます。いじめは「どの学校でも、どの子にも起こり得る」問題であるということを学校として十分認識し、日ごろからいじめを許さない学校づくりに努めてまいりたいと考えています。どんな些細なことでも気になることがございましたら、学校へ御相談ください。

さいたま市では6月を「いじめ撲滅強化月間」とし、全市的にいじめを許さない集団づくり、いじめが起きない学校づくりを推進しています。学校だより6月号では、本校の強化月間の取組を紹介します。

### いじめとは、何か



いじめは、いじめられた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれのあるものです。

#### どの子供にも起こりうる、いじめ

小中学生への6年間のいじめの追跡調査 「仲間はずれ、無視、陰口」

さいたま市立大東小学校  
いじめの追跡調査2013-2018

された経験がある・・・9割

した経験がある・・・9割

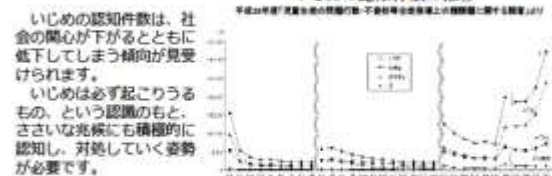
#### 大人が気付にくい、いじめ

いじめは、ふざけや遊びをよそおったり、インターネット上やメールなど、大人の目に付きにくい場所や形で行われます。いじめられた子供自身も、「心配されたくない」「仕返し怖い」という気持ちから、いじめを否定する心理が働く場合もあります。

#### ささいな兆候も、積極的に認知

##### いじめの認知件数の推移

平成28年度「児童生徒のいじめの認知件数」を比較する（単位：件）



いじめの認知件数は、社会の関心が下がるとともに低下してしまう傾向が見受けられます。

いじめは必ず起こりうるもの、という認識のもと、ささいな兆候にも積極的に認知し、対処していく姿勢が必要です。

なやみっぴ

24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310

